

No.2535

展望と雑木林の静かな山陵 大持山・子持山

実施日 2011年10月30日(日)
天候 曇り
リーダー 鈴木 政三
参加者 島本陳重、鈴木政三、山崎富美枝、鈴木恵美子、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、宇野輝代 計10名
費用 電車2,280円(池袋起算)
タクシー 2,600円/台
タイム 西武秩父駅(8:22タクシー)生川・一の鳥居(8:40~8:50)シラジクボ分岐(9:12~9:15)持山寺跡(9:45~9:50)シラジクボ(10:35~10:45)小持山(11:25~11:35)昼食(12:10~12:45)大持山(12:50~12:55)妻坂峠(13:55~14:05)名郷BS(15:12~15:23)飯能駅(16:15バス)

タクシー2台で生川・一の鳥居に向かう。武甲山に向かって進み十二丁石先で生川に架かる鉄橋を渡るとシラジクボへの登山道となる。スギ林の単調な登り、林道に出て幾つかショートカット、落葉の中を進むと道標と石塔がある分岐に出る。持山寺跡は石塔と解説板があるのみ。

シラジクボのルートに戻り、突然前が開けるとシラジクボに出る。ここからは

尾根歩き、少し紅葉には早いですが気持ち良い。200m程のぼると小持山の小さな頂上、振り返ると武甲山が薄ら。一旦下り細尾根となりピークを越え、裂けた狭い岩の間を



抜け、ちょっとした南方の展望スポットに出る。

我々を待っていたかのように遠望の雲が開け、雲上にきれいな稜線が



浮かび上がる。ほどなく大持山頂上に出る、あまり広くない。ここからは下り、鳥首

峠への道を分け妻坂峠に向かう。しばらくは楓の木が多い広い尾根歩き、紅葉もあちこち始まっており素晴らしい景色。



東の間で急降下、中央は挟まれて土嚢が積まれているが歩き難く、路肩を木につかまりながら下る。妻坂峠には小さな石仏がひっそりと佇み、道標に従って名郷に下る。長い林道歩きだが溪谷沿いで景観が良く飽きさせない。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・石原勝正/遠井謙策)

